

大分まちづくり研究会

演題：「one team OITA」令和6年度政策について

日時：令和6年5月31日（金）12:00～13:00

場所：トキハ会館 ローズの間



世代も性別も職種もこえて
みんなのチカラをひとつに。
理想のまちがこれからはじまる。

大分市長 足立 信也

大分市長プロフィール



足立信也(あだち しんや)

生年月日 1957年(昭和32年)年6月5日
出身地 大分市上戸次
趣味 スポーツ観戦
座右の銘 紅蓮(Warm Heart Cool Head)

学歴

1976年(昭和51年) 大分県立大分舞鶴高等学校 卒業
1982年(昭和57年) 筑波大学医学専門学群 卒業
1990年(平成 2年) 医学博士(筑波大学)

職歴

1982年(昭和57年) 筑波大学附属病院医員(研修医)
1984年(昭和59年) 筑波大学附属病院医員
1988年(昭和63年) きぬ医師会病院外科診療科長
1994年(平成 6年) 筑波大学臨床医学系外科講師
2003年(平成15年) 筑波大学臨床医学系外科助教授
2003年(平成15年) 国立霞ヶ浦病院消化器科医長
2004年(平成16年) 筑波メディカルセンター病院診療部長
2004年(平成16年) 第20回参議院議員選挙(大分県選挙区)で初当選
2009年(平成21年) 厚生労働大臣政務官
2010年(平成22年) 第22回参議院議員選挙(大分県選挙区)で2期目当選
2011年(平成23年) 筑波大学客員教授
2016年(平成28年) 第24回参議院議員選挙(大分県選挙区)で3期目当選
2022年(令和 4年) 一般社団法人 新時代戦略研究所 研究顧問
2023年(令和 5年) 大分大学客員教授
2023年(令和 5年) 大分市長就任

人生で影響を受けた言葉

「君達は大変困難な道を選択した。
一生 勉強し続けなければならない。」

【榊原 仟（さかきばら しげる） 筑波大学 副学長】

「10年後に当たり前になる治療を研究しなさい」
【岩崎 洋治（いわさき ようじ） 筑波大学 教授】

「Creative mind and judicious mind」
【江崎 玲於奈（えさき れおな） 筑波大学 学長】

※ 1973年（昭和48年）ノーベル物理学賞を受賞（「半導体内におけるトンネル現象に関する実験的発見」）

政治姿勢の背景など

◆日本の実質GDPの推移:126.3 ※主要先進国平均162.5(2021年)、1990年を100とする、

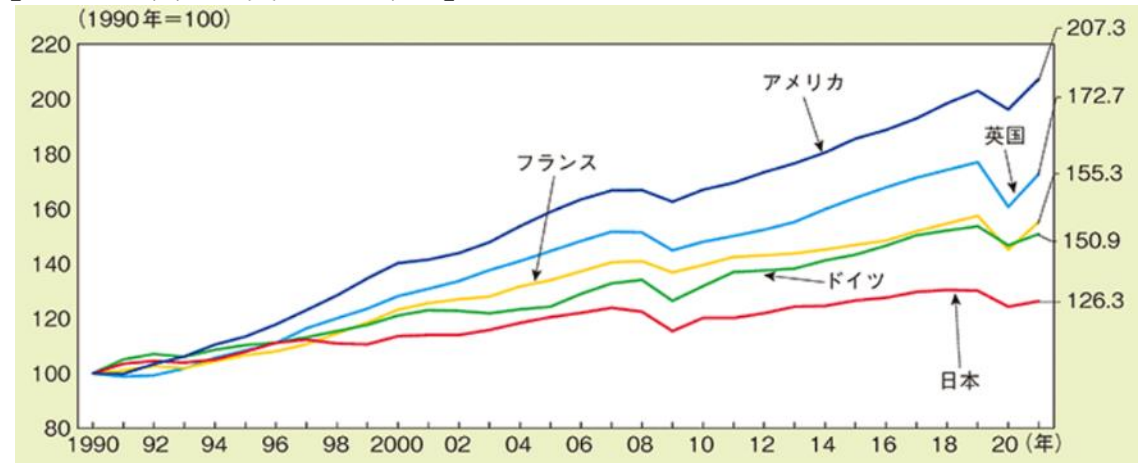
◆日本の実質賃金の推移:103 ※G7各国平均127.5(2020年)、1991年を100とする

◆相対的貧困率の推移:15.4% ※13.5(1991年) ※出所:厚生労働省「2022年 国民生活基礎調査の概況」

◆悩みや不安を感じている者の割合の推移:75.9% ※46.8%(1991年)

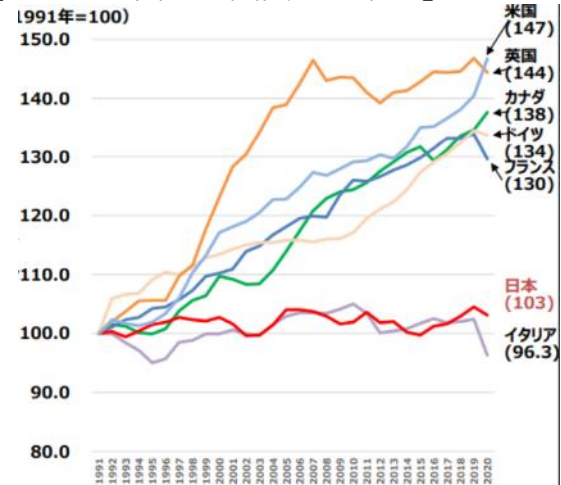
※出所:内閣府「令和5年度 国民生活に関する世論調査」

【主要先進国の実質GDPの推移】



※出所:内閣府「令和4年度 年次経済財政報告」

【主要先進国の実質賃金の推移】



※出所:内閣官房 新しい資本主義実現本部事務局 令和5年8月31日付基礎資料

Copyright(C) OITA CITY. All Rights Reserved.

「ひとが真ん中。」

ひとを**守る**

自然災害や感染症などのリスクをあらゆる角度から想定し、被害を最小限に抑え、市民の生命と財産を守ります。

ひとを**育む**

妊娠・出産・子育てから大学などの高等教育まで切れ目のない支援で、誰もが安心して子どもを産み育てることができる環境をつくります。

ひとを**支える**

少子高齢化による地域コミュニティの衰退などに備え、誰もが役割を持ち、お互いに支え合い、自分らしく輝ける社会の実現をめざします。

ひとを**豊かに**

市民生活の向上と心豊かな暮らしを実現します。また、このまちを次世代へ引き継ぐため、持続可能なまちづくりを進めます。

ひとを**元気に**

人とまちが元気に輝き続けられるよう、新たな魅力が生まれるまちづくりを進めます。

市域（面積）の変遷

2023年(令和 5年) **502.39**km²

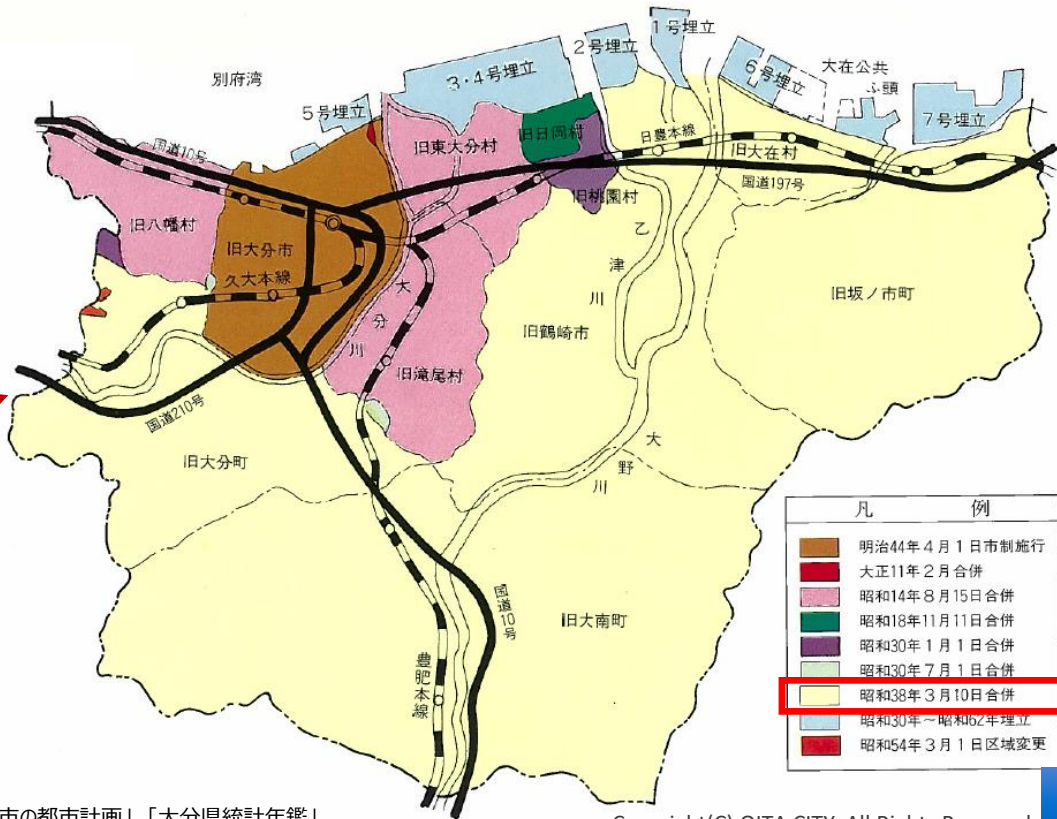
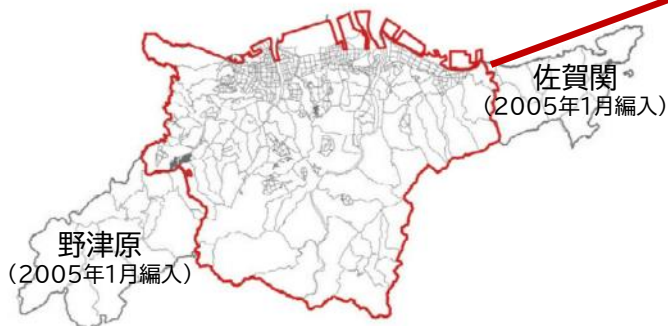
※全国62中核市のうち21番目の広さ(中核市平均403.49km²)

2005年(平成17年) **501.10** km²

1963年(昭和38年) **343.82**km²

1962年(昭和37年) **64.23**km²

1911年（明治44年） **20.17** km²



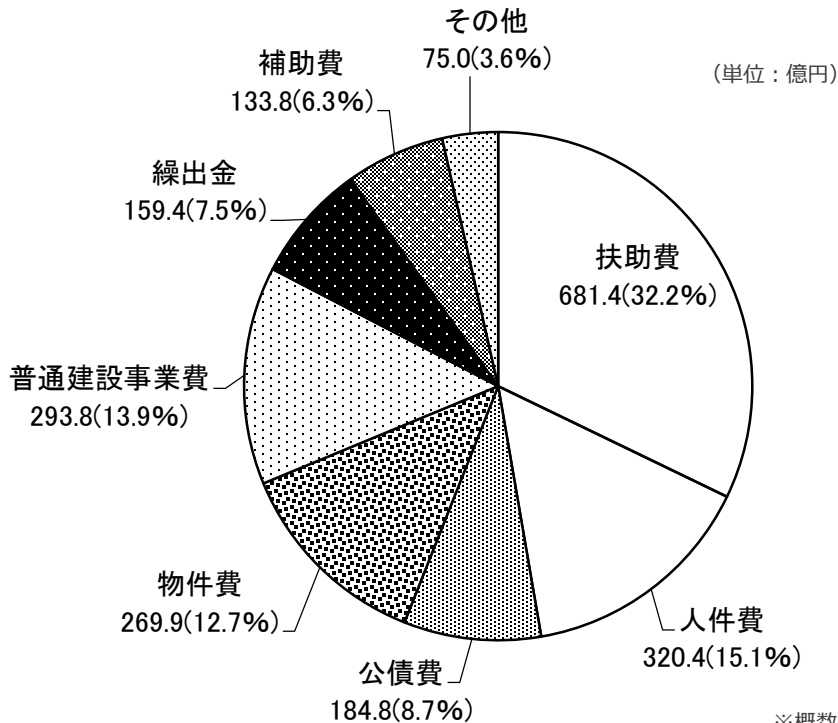
※出所：「大分市統計年鑑」、「中核市都市要覧（令和5年度）」、「大分市の都市計画」、「大分県統計年鑑」

Copyright(C) OITA CITY. All Rights Reserved.

大分市の財政の状況（一般会計の性質別）

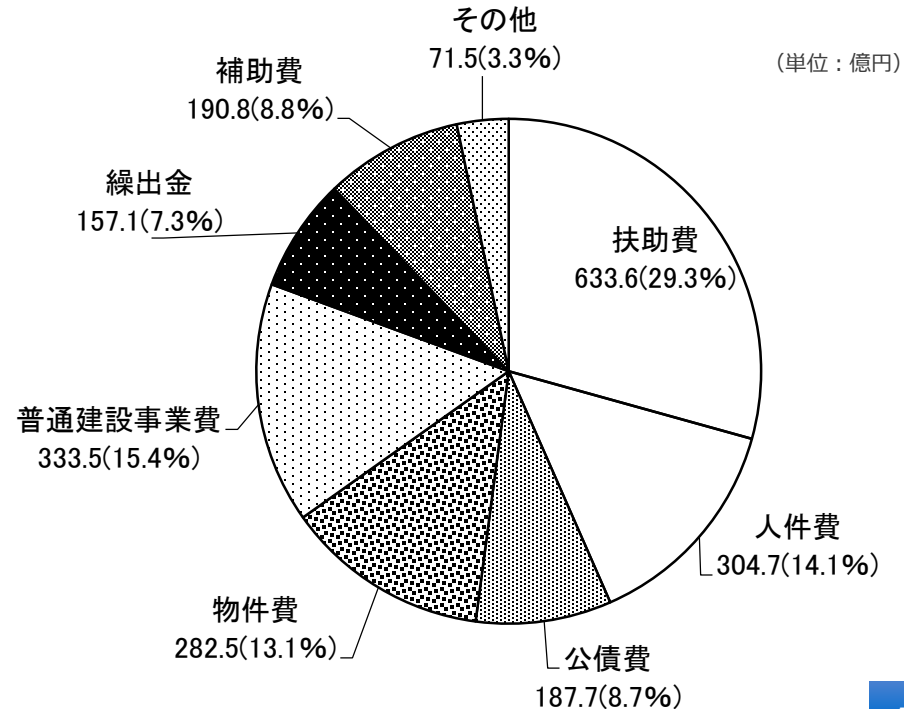
令和6年度当初

歳出予算額 **2,119**億円



令和5年度6月補正後（肉付け）

歳出予算額 **2,161**億円



※概数のため一致しない場合があります

県内の人口の状況

・令和6年4月1日現在の人口

1,087,257人

・1年(R5.3～R6.2)で

-11,126人の減少

内訳として

自然増減 -10,510人

社会増減 - 616人

市町村	R5. 4月～R6. 3月人口動態		
	R5. 4. 1 人口	R6. 3月末 人口	人口増減
県合計	1, 098, 383	1, 087, 257	-11, 126
大分市	472, 083	470, 363	-1, 720
別府市	113, 106	112, 138	-968
中津市	82, 035	81, 026	-1, 009
日田市	60, 126	59, 140	-986
佐伯市	63, 656	62, 204	-1, 452
臼杵市	34, 316	33, 786	-530
津久見市	14, 950	14, 482	-468
竹田市	19, 031	18, 473	-558
豊後高田市	21, 761	21, 452	-309
杵築市	26, 613	26, 091	-522
宇佐市	50, 823	50, 070	-753
豊後大野市	32, 027	31, 343	-684
由布市	32, 178	32, 270	92
国東市	25, 051	24, 526	-525
姫島村	1, 573	1, 521	-52
日出町	27, 416	27, 276	-140
九重町	8, 021	7, 828	-193
玖珠町	13, 617	13, 268	-349

※出所：「大分県の人口推計」

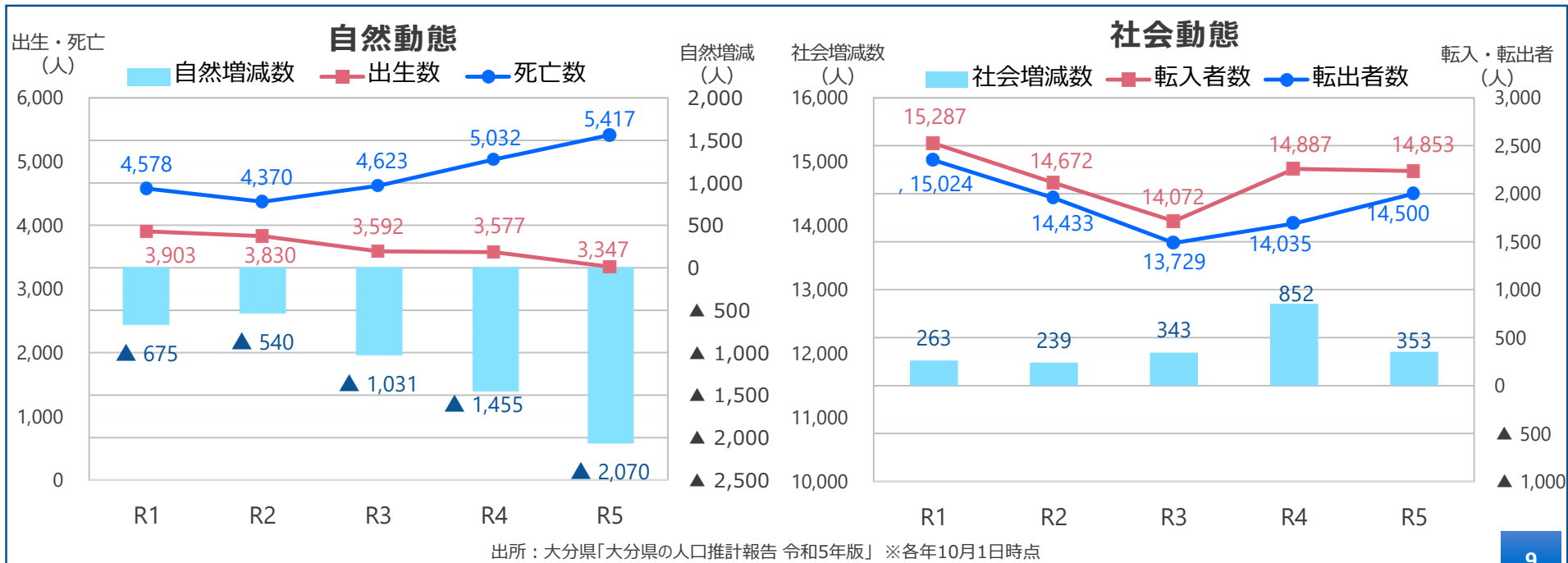
Copyright(C) OITA CITY. All Rights Reserved.

大分市の人口の状況

大分市の人口 **470,363**人(令和6年4月1日現在) ※全国62中核市のうち10番目の人口規模

前年同月比 **-1,720**人

※出所：「大分県の人口推計」、「中核市都市要覧（令和5年度）」

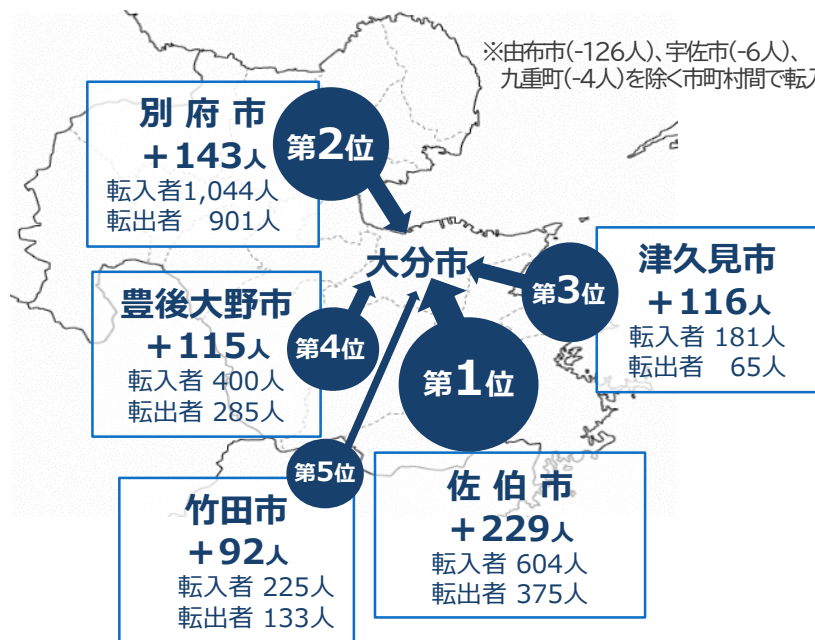


大分市の人口の移動状況

県内の人口移動

+913人の転入超過
(男性: +440人、女性: +473人)

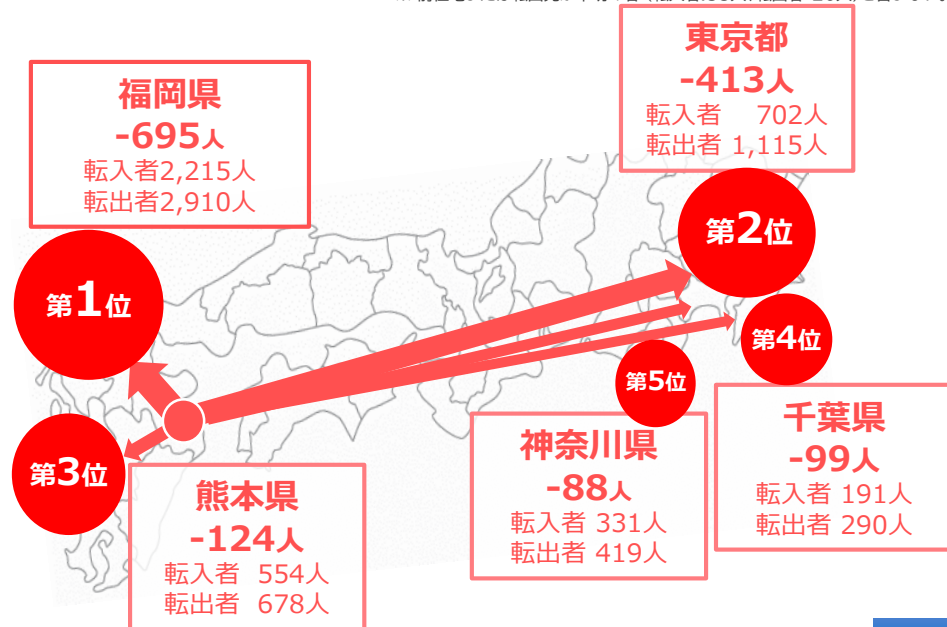
※由布市(-126人)、宇佐市(-6人)、九重町(-4人)を除く市町村間で転入超過



県外の人口移動

-578人の転出超過
(男性: -159人、女性: -419人)

※ 前住地または転出先が不明の者 (転入者: 38人、転出者: 20人) を含まない。

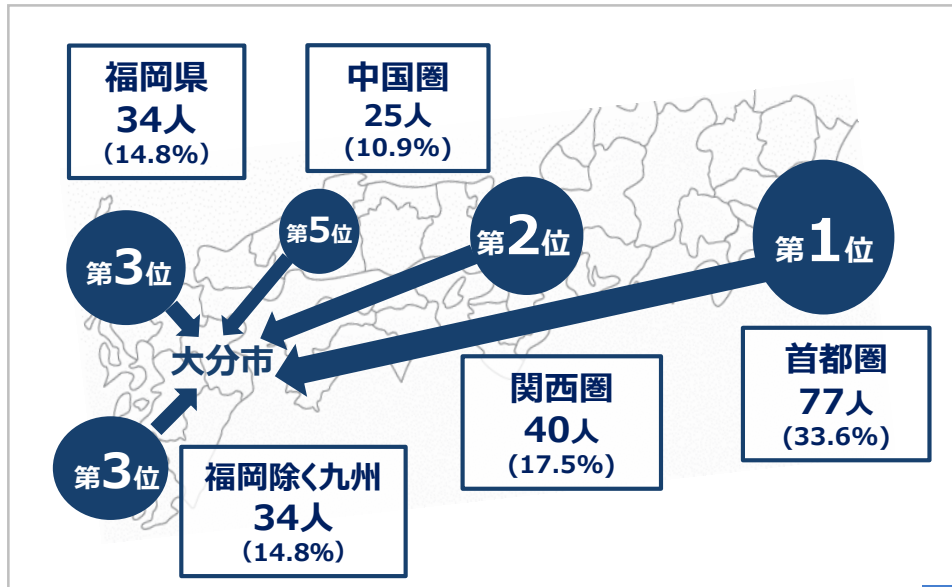
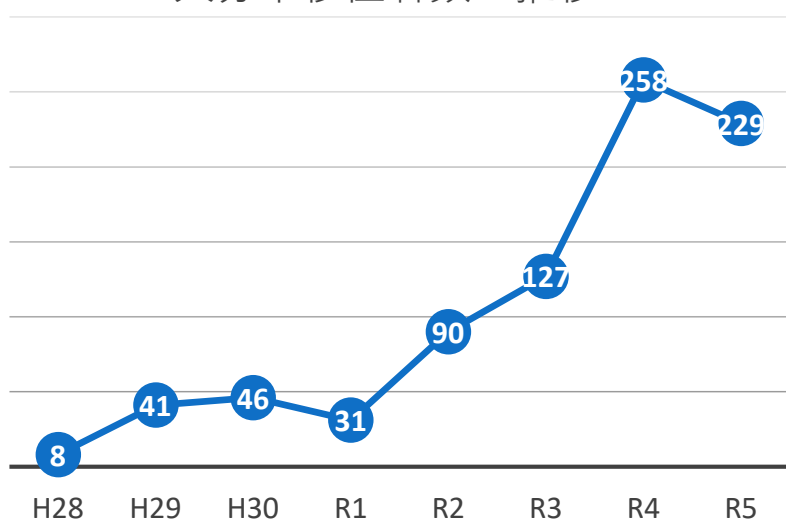


大分市への移住者の状況

出所：大分市おおいた魅力発信局調べ（令和5年度分）

県内市町村 **1**位の **229**人（男性：127人、女性：101人、不明：1人） ※令和4年度に続き県内市町村で1位
首都圏からが **33**%超、30歳代以下が 約**70**%、子育て世帯が 約**36**%

大分市移住者数の推移



大分市の生産年齢人口の推移

出所：総務省統計局「国勢調査」

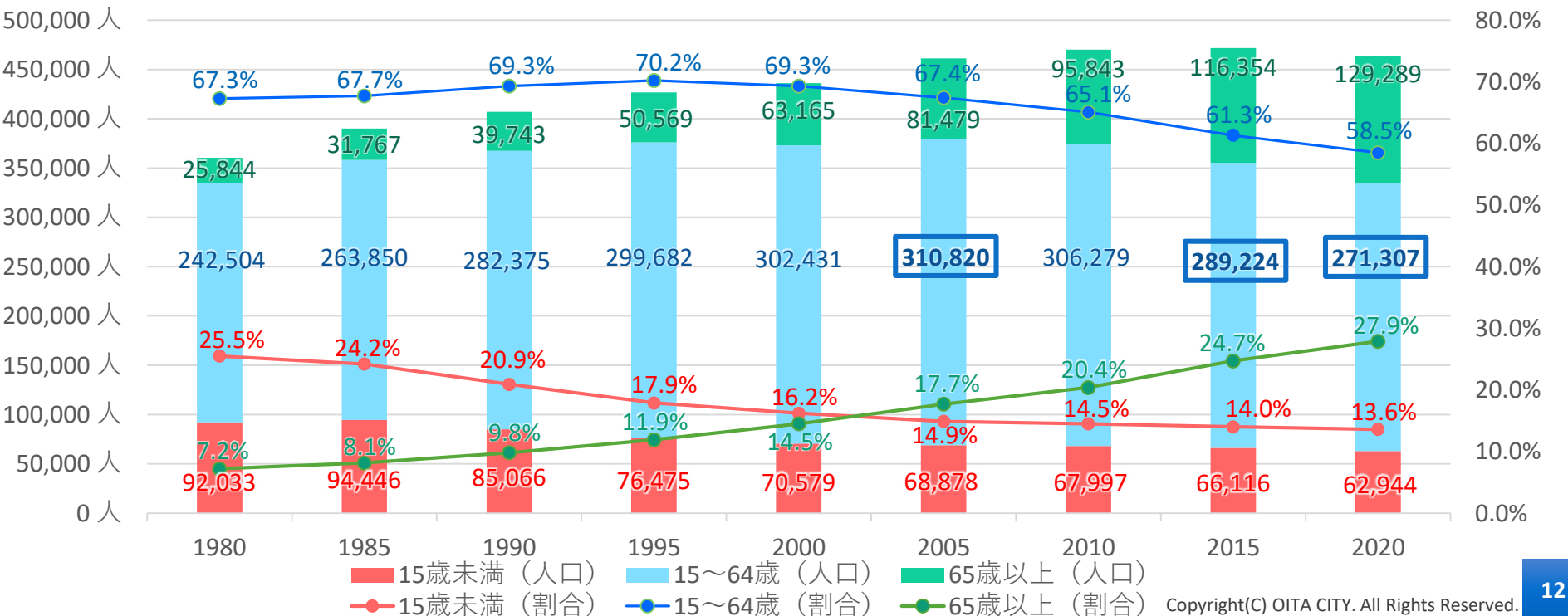
15～64歳(生産年齢人口)の減少数

$$\begin{aligned} \textcircled{1} & 271,307\text{人}(2020\text{年}) - 310,820\text{人}(2005\text{年}) = \mathbf{-39,513\text{人}} \\ \textcircled{2} & 271,307\text{人}(2020\text{年}) - 289,224\text{人}(2015\text{年}) = \mathbf{-17,917\text{人}} \end{aligned}$$

年齢3区分別人口

年齢3区分別人口の推移（年齢「不詳」の者を除く）

年齢3区分別人口割合



大分の雇用情勢など

◆市内の有効求人倍率：1.71倍 ※1.36倍(大分県) 1.28倍(全国)
(大分労働局 令和6年4月30日発表分)

◆県内の正社員有効求人倍率：1.23倍 ※1.03倍(全国)
(大分労働局 令和6年4月30日発表分)

◆県内の完全失業率：2.1% ※2.6%(全国)
(大分労働局 令和6年4月30日発表分)

◆市内の倒産件数：28件 ※前年比+13件、県内は56件(前年比+11件)
(東京商工リサーチ大分支店 2023年)

◆市内の休廃業・解散件数：220件 ※前年比+53件、県内は536件(前年比+155件)
(東京商工リサーチ大分支店 大分県2023年「休廃業・解散企業」動向調査)



2024年問題

(働き方改革関連法による建設や物流、医療業界への影響)

少子化対策を最優先

少子化が進行すると・・・

- ・地域コミュニティの弱体化
- ・社会保障制度の疲弊
- ・地域経済の縮小
- ・労働力の不足
- ・市の財政の硬直化

・・・など社会や経済に多大な影響

ひとを育む

妊娠・出産・子育てから高等教育まで切れ目のない支援の充実

◆新たな産後ケア事業の実施

生後1年未満の乳児と母親を対象に、アウトリーチ型(利用者の自宅に赴く)の相談・指導を実施するとともに、利用者の自己負担額を減額



◆保育料の無償化を拡大

認可外保育施設を利用する保育の必要性がある第2子以降の0、1、2歳児の保育料を無償化(月額上限3万5千円)

※認可保育施設における第2子以降の0～2歳児の保育料は令和元年10月から完全無償化



◆小学生のピロリ菌検査を実施

小学校5年生の希望者を対象に検査を行い、検査後から除菌治療までの間、継続的にフォローアップすることで、将来の胃がん等のリスクを軽減



妊娠・出産・子育てから高等教育まで切れ目のない支援の充実

◆医療的ケア児の在宅レスパイト事業の実施

在宅で医療的ケア児の介護等を行なう家族の負担軽減を図るため、休息のために利用する保険適用超過分の訪問看護サービスに係る費用を助成



◆子ども医療費助成の対象者を拡大

令和6年4月診療分から助成の対象を高校生年代(18歳)までに拡大

※拡大前の対象者は15歳まで



◆子どもの医療用ウィッグ等への助成

疾患等により脱毛症状のある小中高生(6～18歳)の経済的負担及び日常生活の心理的負担の軽減を図るため、ウィッグ等の購入費用を助成



妊娠・出産・子育てから高等教育まで切れ目のない支援の充実

◆児童手当の給付の拡充

令和6年10月分(12月支給分)から対象を高校生年代(18歳まで)に拡大するとともに、所得制限の撤廃、多子世帯への増額などを実施

	拡充前（令和6年9月分まで）	拡充後（令和6年10月分以降）
支給対象	中学校終了までの市内に住所を有する児童 (15歳到達後の最初の年度末まで)	<u>高校生年代まで</u> の市内に住所を有する児童 (<u>18歳到達後</u> の最初の年度末まで)
所得制限	あり	<u>なし</u>
手当月額	・ 3歳未満 一律：15,000円 ・ 3歳～小学校修了まで - 第1子、第2子：10,000円 - 第3子以降：15,000円 ・ 中学生 一律：10,000円 ・ 所得制限以上 一律：5,000円（当分の間の特例給付）	・ 3歳未満 - 第1子、第2子：15,000円 <u>第3子以降：30,000円</u> ・ 3歳～<u>高校生年代</u> - 第1子、第2子：10,000円 <u>第3子以降：30,000円</u>
支払期月	3回（2月、6月、10月） ※各前月までの4か月分を支払	<u>6回（偶数月）</u> ※各前月までの2か月分を支払

妊娠・出産・子育てから高等教育まで切れ目のない支援の充実

◆新たな奨学資金制度の開始

進学を志す学生の経済的な負担軽減と卒業後に本市で活躍する人材の育成・確保を目的として、返還免除型の奨学資金制度を開始(令和7年度入学者から貸与)

	貸与型（令和6年度入学者まで）	返還免除型（令和7年度入学者以降）
対象者	保護者が市内に住所を有しており、学業・人物とも優秀で経済的理由により修学困難な方	<u>市内の高等学校等に在学しており、学業・人物とも優秀な方</u> ※市外の高等学校等に在学している場合は、保護者が市内に住所を有すること
所得制限	あり	<u>なし</u>
貸与金額（年額）	・ 高等学校、高等専門学校 国公立：120,000円 私立：240,000円 ・ 大学、短大：540,000円	・ 大学、短大、 <u>専門学校（専修学校専門課程等）</u> <u>入学一時金 県内：500,000円</u> <u>県外：800,000円</u> <u>学費：500,000円</u>
返還期間	卒業、退学により貸与を終了した翌月から起算して半年後から15年以内	卒業、退学により貸与を終了した <u>翌月から15年以内</u> <u>※卒業後、「大学院等への進学」や「本市以外で勤務等」の場合は最大5年間の返還猶予期間あり</u>
返還免除	なし	<u>あり</u> <u>※卒業後5年間、「市内に居住」または「市内の事業所等に就業」</u>

ひとを守る

安全・安心な医療・防災体制

◆手術支援ロボットの導入・普及を促進

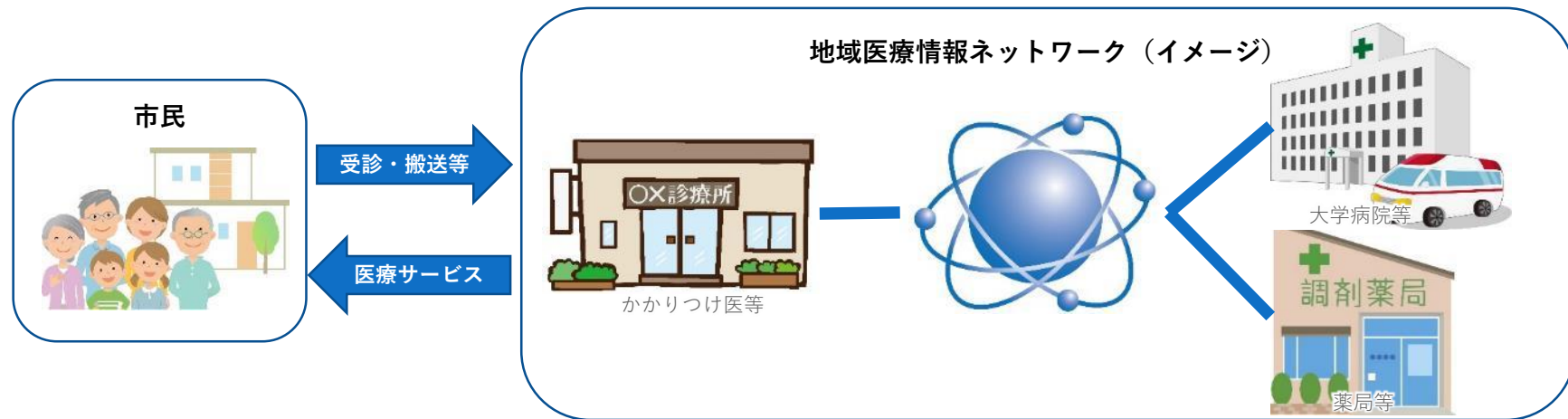
先進医療の導入・普及を図るため、手術支援ロボットの人材育成に係る研修費用等を補助



手術支援ロボット（イメージ）

◆地域医療情報ネットワークの運用開始

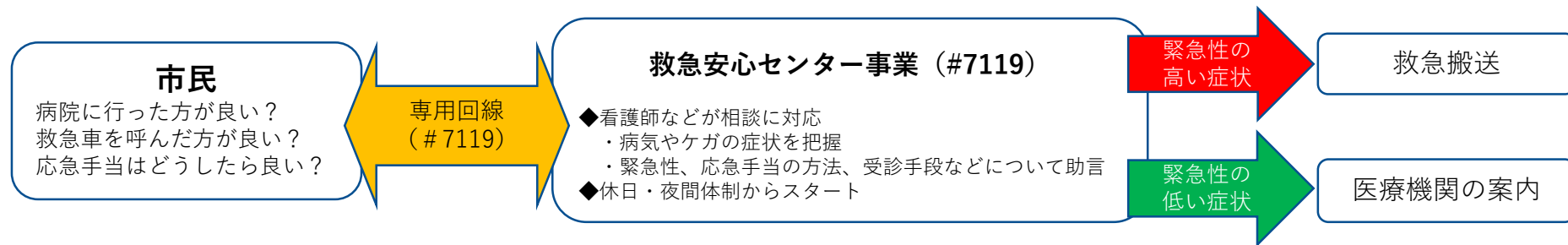
医療機関が市民の診療情報等を共有し、より質の高い医療サービスの提供を目的とした地域医療情報ネットワーク（おおいた医療ネットワーク）を令和6年7月から運用開始予定



安全・安心な医療・防災体制

◆救急医療の電話相談事業（#7119）の実施

病院の受診や救急車の要請などに迷った場合に、市民が安心して相談できるよう、専用の電話相談窓口を設置



◆消防指令業務の共同運用

県下14消防本部の119番通報を本市が一手に受け付けるもので、令和6年10月から運用開始予定
都道府県単位での一本化は全国初



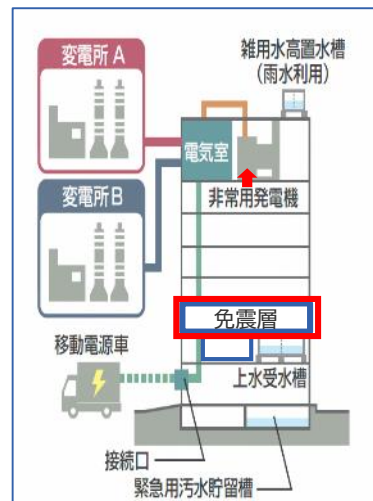
安全・安心な医療・防災体制

◆新たな複合公共施設の供用開始

中心市街地に位置する荷揚町小学校跡地の利活用として、防災機能とコミュニティ機能を備えた公共複合施設「大分市荷揚複合公共施設」を令和6年4月から供用開始



「ZEB Ready」を取得(大規模建築物において全国的にも実績が少ない)



防災機能(災害時の業務継続性)



コミュニティ機能(府内こどもルーム)



コミュニティ機能(コモンスペース)

◆防災拠点施設の整備

災害救援物資の輸送拠点と地域住民等の緊急避難場所としての機能を併せ持つ防災拠点施設を戸次地区に整備し、令和6年10月から供用開始予定

ひとを支える

物価高騰対策関連 (11事業、7.2億円)

◆貨物運送事業者への支援

市内で貨物運送事業を営む中小企業者及び個人事業主に対して、使用する車両数に応じて支援金を給付



◆交通事業者への事業継続支援

交通事業者に対して、事業の業務効率化や省エネルギー化、人材確保等の取組を支援し、公共交通の維持や観光を振興



◆農業者・畜産経営者・漁業者への支援の継続

認定農業者への肥料や畜産経営者への飼料、漁業者への燃料など、それぞれの購入費等に対して助成



自分らしく輝ける社会の実現と支える体制づくり

◆地域の食と居場所づくりを推進

地域における共助に関する取組を活性化させるため、全世代を対象とした地域食堂及び交流活動を実施する非営利団体に対して補助



食と居場所づくり事業
(イメージ)

◆福祉タクシーの利用助成

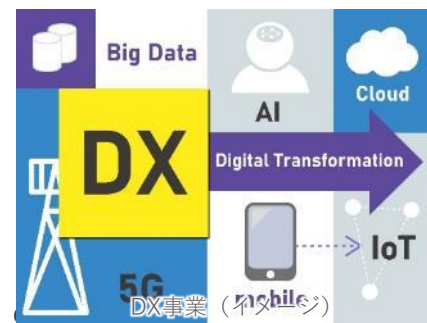
タクシーの運賃の改定に伴い、利用の上限額等の引き上げを行い、障がいのある方の社会参加を支援



福祉タクシー支援事業
(イメージ)

◆自治体DXの推進

デジタル技術を活用して市民の利便性を向上させるとともに、業務の効率化を図り、人的資源を行政サービスの更なる向上に繋げる



ひとを豊かに

国内有数の「産業都市大分」－九州一の製造品出荷額等－

九州 2021年～2019年**1**位

(単位：兆円)

2021年			2020年			2019年		
順位	自治体	製造品 出荷額等	順位	自治体	製造品 出荷額等	順位	自治体	製造品 出荷額等
1	大分市	3.18	1	大分市	2.34	1	大分市	2.77
2	北九州市	2.63	2	北九州市	2.11	2	北九州市	2.32
3	京都郡菟田町	1.20	3	京都郡菟田町	1.31	3	京都郡菟田町	1.73
4	宮若市	1.18	4	宮若市	1.20	4	宮若市	1.29
5	中津市	0.67	5	中津市	0.68	5	中津市	0.64
6	福岡市	0.62	6	福岡市	0.60	6	福岡市	0.58
7	合志市	0.54	7	長崎市	0.45	7	熊本市	0.46
8	熊本市	0.45	8	熊本市	0.43	8	都城市	0.45
9	都城市	0.44	9	都城市	0.43	9	長崎市	0.45
10	諫早市	0.42	10	諫早市	0.41	10	合志市	0.43

全国 2021年**12**位 2020年**13**位 2019年**13**位

(単位：兆円)

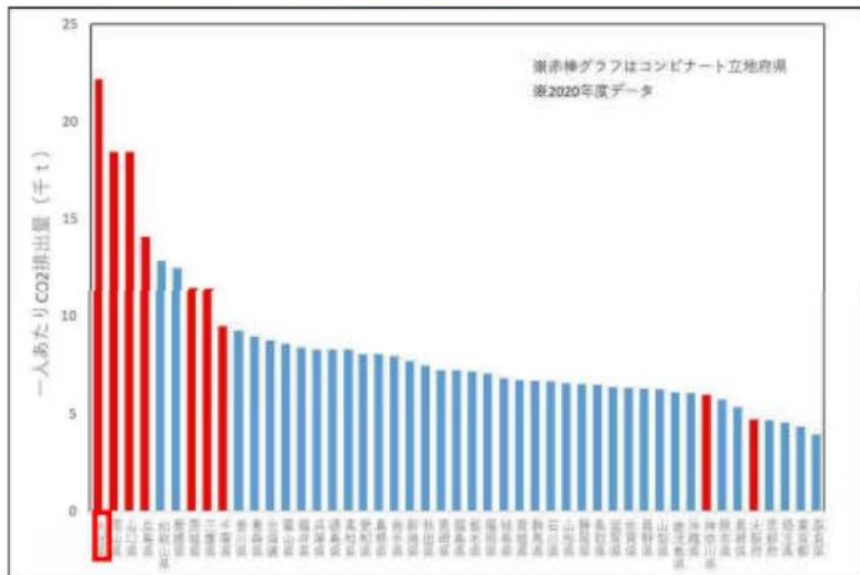
2021年			2020年			2019年		
順位	自治体	製造品 出荷額等	順位	自治体	製造品 出荷額等	順位	自治体	製造品 出荷額等
1	豊田市	14.98	1	豊田市	14.71	1	豊田市	15.17
2	倉敷市	4.62	2	市原市	3.97	2	川崎市	4.08
3	市原市	4.25	3	堺市	3.55	3	市原市	4.07
4	堺市	4.23	4	大阪市	3.53	4	横浜市	3.93
5	横浜市	4.15	5	横浜市	3.52	5	倉敷市	3.88
6	大阪市	4.08	6	倉敷市	3.47	6	大阪市	3.57
7	川崎市	3.96	7	神戸市	3.41	7	堺市	3.48
8	神戸市	3.42	8	川崎市	3.40	8	神戸市	3.42
9	東京特別区	3.41	9	東京特別区	3.00	9	名古屋市	3.30
10	名古屋市	3.36	10	名古屋市	2.99	10	広島市	3.10
11	四日市市	3.18	11	四日市市	2.87	11	太田市	2.99
12	大分市	3.18	12	広島市	2.80	12	東京特別区	2.93
13	広島市	2.78	13	大分市	2.34	13	大分市	2.77
14	北九州市	2.63	14	太田市	2.27	14	四日市市	2.76
15	京都市	2.62	15	京都市	2.14	15	岡崎市	2.58

県内のCO₂排出動向など

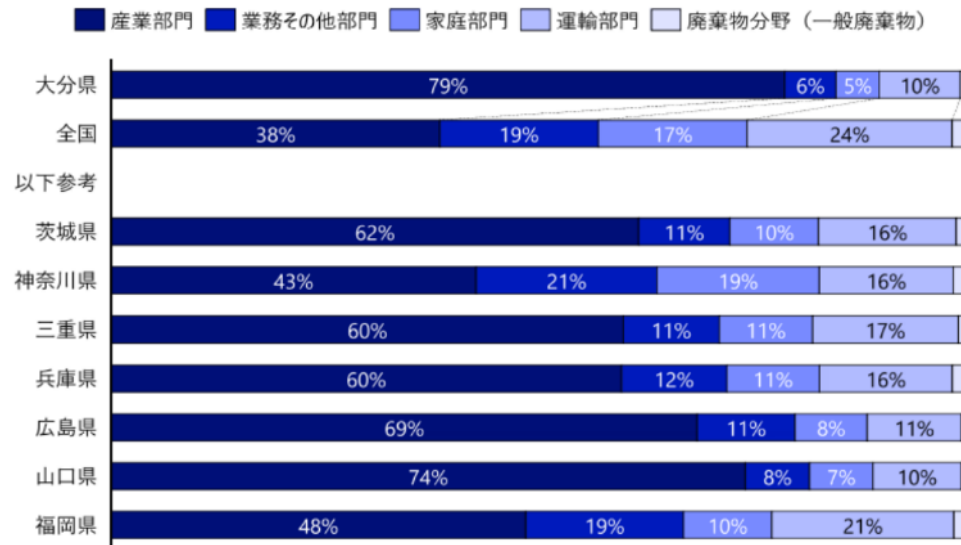
◆大分県はCO₂排出量が人口一人当たりで全国1位

◆大分県内の産業部門CO₂排出量構成割合は全国平均と比較して大きい

県民一人あたりCO₂排出量都道府県ランキング



部門別のCO₂排出量構成比 (2019年度)



大分の平均気温など

◆世界の平均気温(2023年)

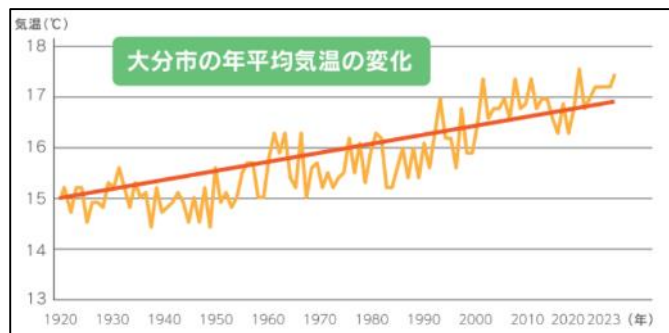
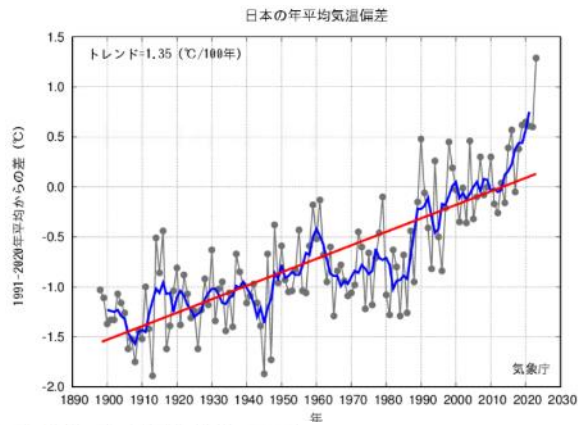
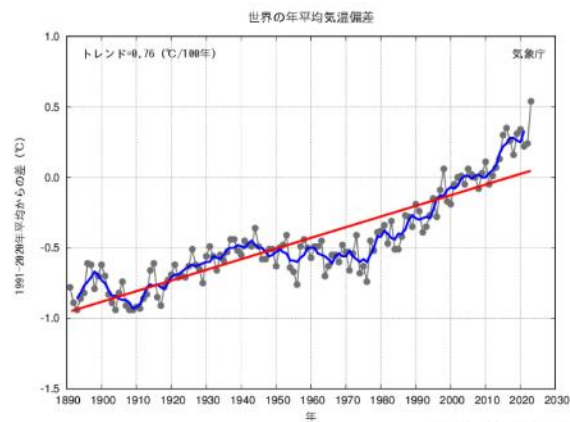
基準値(1991~2020年の30年平均値)からの偏差+0.54℃ ※1981年の統計開始以降、最も高い値(気象庁)

◆日本の平均気温(2023年)

基準値(1991~2020年の30年平均値)からの偏差は+1.29℃ ※1898年の統計開始以降、最も高い値(気象庁)

◆本市の年間平均気温(2023年)

平均気温(過去100年間)から+1.82℃ ※「大分市の温暖化の状況」より



地域経済の活性化と持続可能なまちづくり

◆脱炭素先行地域づくり

本市が表明している「2050年ゼロカーボンシティ」をめざし、国が実施する「脱炭素先行地域」の選定に向け、県・民間事業者と共同して取組を推進



脱炭素先行地域づくり事業（イメージ）

◆製品プラスチック再商品化実証事業

プラスチック資源循環の促進につながる新たなごみ減量施策の検討のため、選定した対象地区で排出された製品プラスチックの収集・分析・商品化までの事業を実施



プラスチック資源循環広報ツールから抜粋（環境省）

◆全国豊かな海づくり大会関連事業

第43回全国豊かな海づくり大会に合わせ、「豊かな海」とその保全について学ぶことができるイベントを令和6年11月9日・10日に開催予定 ※場所:祝祭の広場ほか



地域経済の活性化と持続可能なまちづくり

◆工場夜景クルーズの実証事業

福岡・大分デスティネーションキャンペーン(R6.4~6)や全国豊かな海づくり大会(R6.11)に合わせ、本市の強みである臨海部の工場群の夜景を海から鑑賞するクルーズを実施 ※5~8月の週末と11月9・10日に実施予定



画像 ©2023 Airbus, CNES / Airbus, Landsat / Copernicus, Maxar Technologies, Planet.com, 地図データ ©2023 500 m



◆中央通り線歩道修景整備事業

通行時の安全性や中心市街地の回遊性等を高めるため、中央通りの歩道の舗装等を実施するとともに、一部で使用する舗装ブロックへの名前刻印を通じて、ふるさとへの愛着や本市への応援等を促進

※【市外居住者】予定数(200名分)を受付中(5/13~予定数に達するまで)、【市内居住者】予定数(1,500名)に達したため、現時点で受付終了

Copyright(C) OITA CITY. All Rights Reserved.

地域経済の活性化と持続可能なまちづくり

◆中九州横断道路の整備の推進

国土交通省九州地方整備局の開催した九州地方小委員会(R5.12)において、①山側ルート
②吉野地区への中間IC設置 の2点の方針が妥当とされた。



ひとを元気に

本市の特色や若者の持つ活力を生かした魅力ある地域づくり

◆道の駅「たのうらら」のオープン

観光における大分の玄関口として賑わいの創出と周遊の促進を図るため、西部海岸地区に道の駅「たのうらら」を令和6年7月7日(日)オープン予定



地元製品の販売コーナー、飲食店、シャワー室、展望デッキなどを備える。また、かつて周辺を走っていた路面電車の車両を展示するなど観光や歴史等に関する情報発信拠点の役割も担う。

本市の特色や若者の持つ活力を生かした魅力ある地域づくり

◆全国高等学校総合体育大会（インターハイ）の開催

令和6年7月から北部九州(大分県、福岡県、佐賀県、長崎県)で開催されるインターハイ(開催期間: 7/21～8/20)における本市開催競技種目別大会の運営

【大会愛称、シンボルマーク、スローガン】

ありがとうを強さに変えて
北部九州 2024



駆け上がれ
夢の舞台へ
燃え上がれ
若人の魂

【市内での大会スケジュール】

競技種目	競技日程	競技会場
なぎなた	7/26(金)～7/29(月)	レゾナック武道スポーツセンター
テニス	8/1(木)～8/8(木)	豊後企画テニスコート、 レゾナックテニスコートほか
剣道	8/3(土)～8/6(火)	レゾナック武道スポーツセンター
柔道	8/10(土)～8/14(水)	レゾナック武道スポーツセンター
水球	8/17(土)～8/20(火)	大分県立大分商業高等学校

本市の特色や若者の持つ活力を生かした魅力ある地域づくり

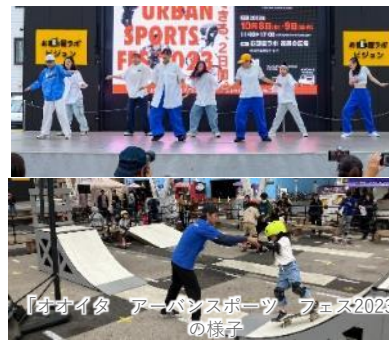
◆新たな花火大会への支援

令和6年8月31日(土)に大分川(弁天大橋上流)でおおいた「夢」花火実行委員会が開催する『おおいた「夢」花火2024』に対して支援



◆アーバンスポーツフェス開催事業

若者を惹きつけるスケートボードやブレイキン(ブレイクダンス)などのアーバンスポーツの魅力が体感できるイベントを開催予定



◆若者の活躍推進事業

本市の未来を担う若者の活躍を後押しするため、今年度から始まった『大分市若者活躍推進プラン』に関連する取組を総合的かつ計画的に推進



※割愛

大分市の未来に向けて

one team オール市民でまちを創る ワンチーム
おおいた ITA

ご清聴ありがとうございました